

平成 22 年度環境技術実証事業検討会ヒートアイランド対策技術分野
(地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム)
拡大ワーキンググループ会合
議事要旨 (案)

1. 日時：平成 22 年 12 月 9 日 (木) 13:00～15:00
 2. 場所：J Aビルカンファレンスルーム 301A 会議室
 3. 議事
 - (1) 環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野 (地中熱・下水道を利用したヒートポンプ空調システム) の概要について
 - (2) 事業及び対象技術分野に関する要望・意見について
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - (4) その他
 4. 出席検討員：藤井光 (座長)、足永靖信、大岡龍三、笹田政克、関根賢太郎、花崎広隆
意見者 (平成 21、22 年度実証機関)：
地中熱利用促進協会
意見者 (平成 21、22 年度実証申請者)：
ゼネラルヒートポンプ工業株式会社、ミサワ環境技術株式会社
意見者 (平成 22 年度実証申請者)：
株式会社秀建コンサルタント、三菱マテリアルテクノ株式会社
欠席検討員：藤谷泰裕
 5. 配付資料
 - 資料 1 環境省実証事業の概要について
 - 資料 2 環境技術実証事業ヒートアイランド対策技術分野 (地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム) の概要について
 - 資料 3 事業及び対象技術分野に関する要望・意見について
 - 資料 4 実証試験概要の修正に向けて
 - 資料 5 ロゴマークについて
 - 資料 6 今後のスケジュール
- 参考資料 1 平成 22 年度 実証試験要領
参考資料 2 平成 22 年度 ロゴマークの活用事例 (非公開資料)

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) 環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水道を利用したヒートポンプ空調システム）の概要について

- ・ 環境省より資料 1、2 に基づき環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水道を利用したヒートポンプ空調システム）の概要について説明がされた。
- ・ 集客力のある展覧会等で積極的に結果を公開していくべきとの意見があった。

(2) 事業及び対象技術分野に関する要望・意見について

- ・ 事務局より資料 3、4、5 に基づき事業及び対象技術分野に関する要望・意見について説明がされた。

（実証機関の立ち会いについて）

- ・ 実証は、実証機関が 1 回以上立ち会う等の規定を設けることを前提に、申請者がデータを出して、実証機関が解析する仕組みとすることが好ましいとの意見があった。
- ・ 申請者がデータを出す仕組みとする場合、不正行為を想定した仕組みを検討する必要があるとの意見があった。

（事業全体について）

- ・ ロゴマークの否定的な文言は消してほしいとの意見があった。

（ロゴマークについて）

- ・ 特定の一つの製品のみを対象とした実証であるため、パンフレットに結果を載せる場合は、かなり厳密な断り書きが必要との意見があった。
- ・ ロゴマークには、実証単位と実証場所の記載が必要との意見があった。
- ・ ロゴマークの意味をしっかりと示すのが重要であり、これに URL がついていれば、実証結果にもたどりつきやすいとの意見があった。
- ・ 「環境省」の文字がもっと大きいと効果があるとの意見があった。
- ・ 第三者実証である旨、URL、実証番号の 3 つがあれば良いとの意見があった。
- ・ ロゴの中には結果は示さない方針とし、その他の記載事項に関しては、アンケート結果を踏まえ、読みやすさを考慮しつつ案を検討すべきとの結論に至った。

(3) 今後のスケジュールについて

- ・ 事務局より資料 6 に基づき今後の検討スケジュールについて説明があった。

（文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり）